

マンダム20代女性 おしゃれ意識調査から  
**不安時代の今、人と人の「つながり」を重視。  
幸せな将来に向かい、  
着々と企むロールキャベツ女子増加中。**

株式会社マンダム（本社：大阪市 社長執行役員：西村元延 以下マンダム）は、ヘアメイクブランド「ルシードエル」開発の背景となる「20代女性 おしゃれ意識調査」を実施いたしましたのでご報告いたします。

調査概要：2011年07月 全国20代女性207名 インターネットリサーチ

**1. 合コンよりも女子会優先！女子会参加率は合コン参加率の約2.5倍。**

「女子会に参加する（82.1%）」が「合コンに参加する（32.4%）」を大きく上回る。月平均の女子会参加回数も0.86回/月、合コン参加回数は0.20回/月と、女子会の重要度が大きくなっている。

**2. ストレス発散だけではない。安心やつながりを求めて女子会へ。**

就職氷河期、不景気加速など、今も先行きも不安な彼女たちにとって、女子会は自分の存在感や幸せ度を確認する場であり、幸せな将来のための情報交換の場。職場・地元・サークル・SNS など多様なリレーションの根底には、“つながる安心感”や“前向きになれる共感”を求めている。

**3. 幸せな将来のために大事なことも、「親」「家庭」「友達」などのつながり。**

将来を不安視する彼女たちは、玉の輿願望より安定・堅実な「身の丈の幸せ」を願っており、「両親を大切に（68.6%）」「幸せな家庭を築くこと（67.6%）」「心を許せる友達（61.2%）」が、幸せな将来に大事なことベスト3。雑誌内容でも「今後の人生に役立つような情報」に注目しているのが目新しい。

**4. 堅実志向でも、着々と企むロールキャベツ女子急増中。**

彼女たちは志向は堅実でも、幸せをゲットする恋活・婚活の場面では、積極的なくたくらみ女子>と言える。「相手によって肉食・草食を使い分ける」と22.7%が回答。巷で流行のロールキャベツ男子ならぬ、“ロールキャベツ女子”が増加している模様。

**5. <たくらみ女子>の好感度アップツールは、自分も他人からの印象も変えてしまう「髪」**

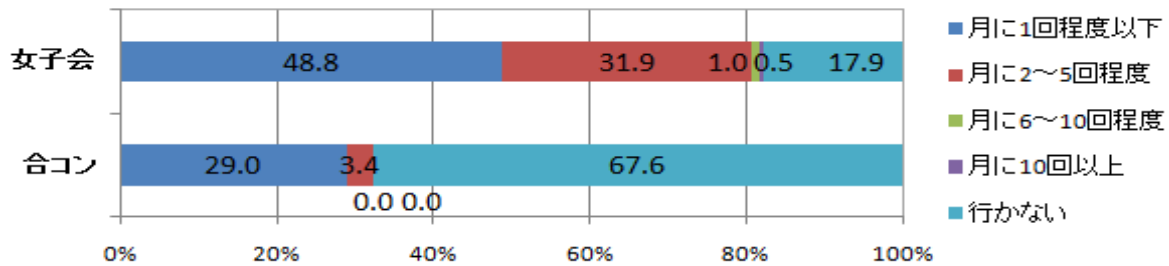
「髪型を変えるとテンションが上がる（93.7%）」・「似合う洋服が変わる（83.1%）」や「髪がきれいだと行き届いた印象を与える（95.7%）」というように、髪は内面にも外見にも変化を与えることができる。

**6. 髪のお手入れはたくらみ女子にとって欠かせない。**

「髪はキレイの象徴（72.9%）」、「髪はオンナの命（62.3%）」、「髪はオンナの武器（56.5%）」と回答。女性にとって髪がいかに重要なかがうかがえる。たくらみ女子にとってアレンジひとつで大きく変身できる髪は強力な武器であり、身の丈の幸せをゲットするための必要不可欠なものである。

## 1. 「女子会」と「合コン」の参加状況

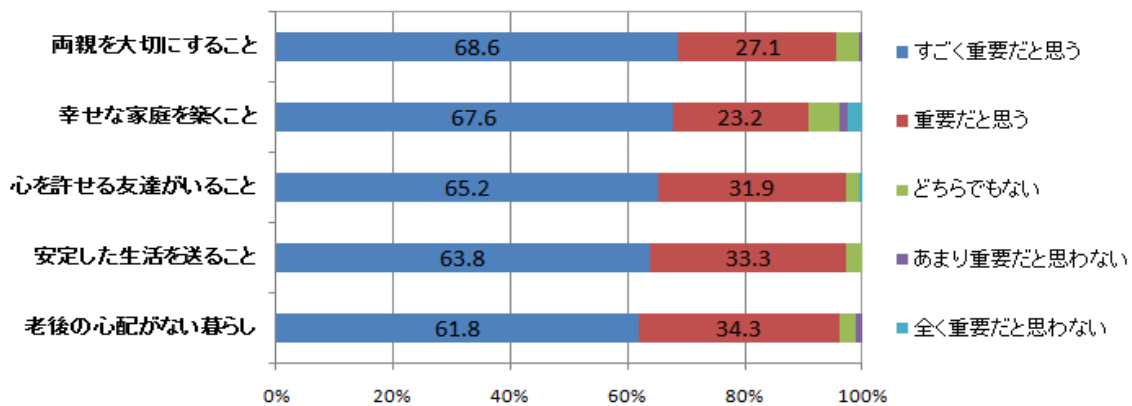
グラフ1：女子会と合コンの参加頻度（%）



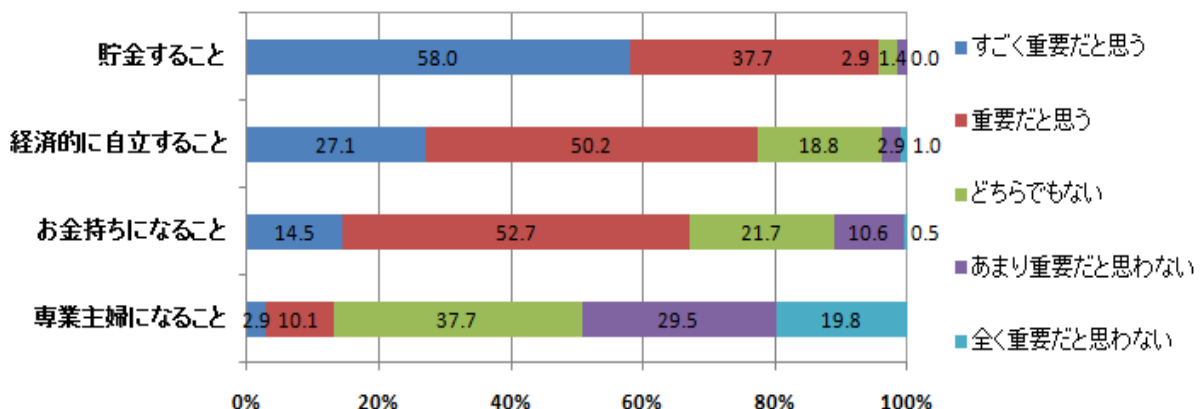
「女子会」と「合コン」の参加頻度を調査したところ、圧倒的に「女子会」への参加率の方が高い。その理由としては「楽しい」「ストレス発散」「情報交換」の他に、「自分の周りの人と比べて自分は幸せか、頑張っているか確認したい」など、「女子会は自分の存在感を確認したいから行く」という、リサーチの場として活用という意見も目立った。また「不安な気持ちを共有したり、払拭したい」など、現在や将来に不安があるため安心の場（自分の居場所の確保）を求めて女子会に参加するという意見もあり、人とのつながりによりどこかを求めているように推察できる。

## 2. 幸せな将来において重要だと思うもの（12の質問項目を、集約時に3つのカテゴリーに分類）

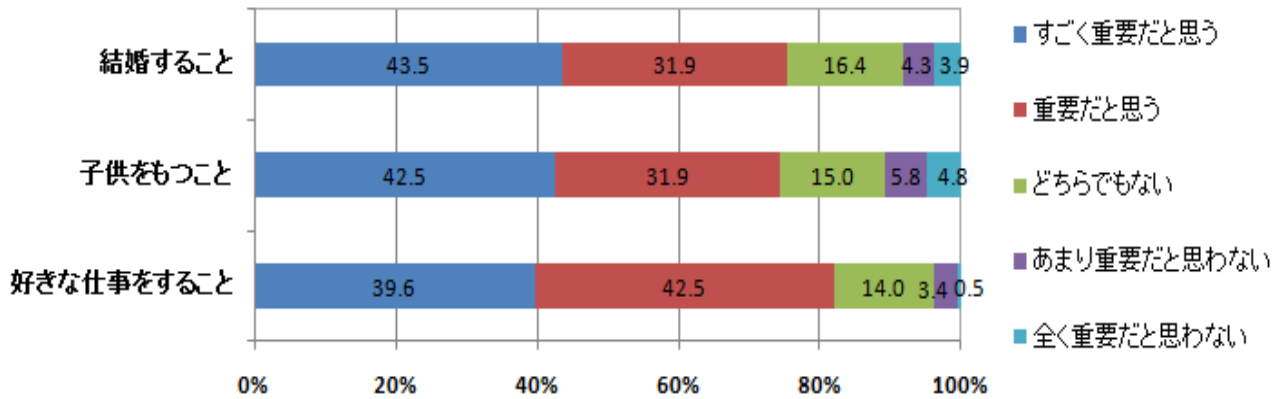
グラフ2：幸せな将来において重要だと思うもの上位BEST5（%）



グラフ3：幸せな将来において重要だと思うもの（経済性）（%）



グラフ4：幸せな将来において重要だと思うもの（生活状況）（%）



ここでも、両親・家庭・友達とのつながりを重要視していることがわかる。（グラフ2）続いて心配のない安定した暮らしを求めており、現在の不安時代を裏付けた結果となった。先行き不安な状態の中で、経済状態の安定を示しているものと思われるが、「お金持ちになる」というような夢や理想ではなく、堅実的・現実的な志向を持っている。（グラフ3）「貯金する」はトップボックス（TP）で58%を占めているが「お金持ちになる」は14.5%に留まる。

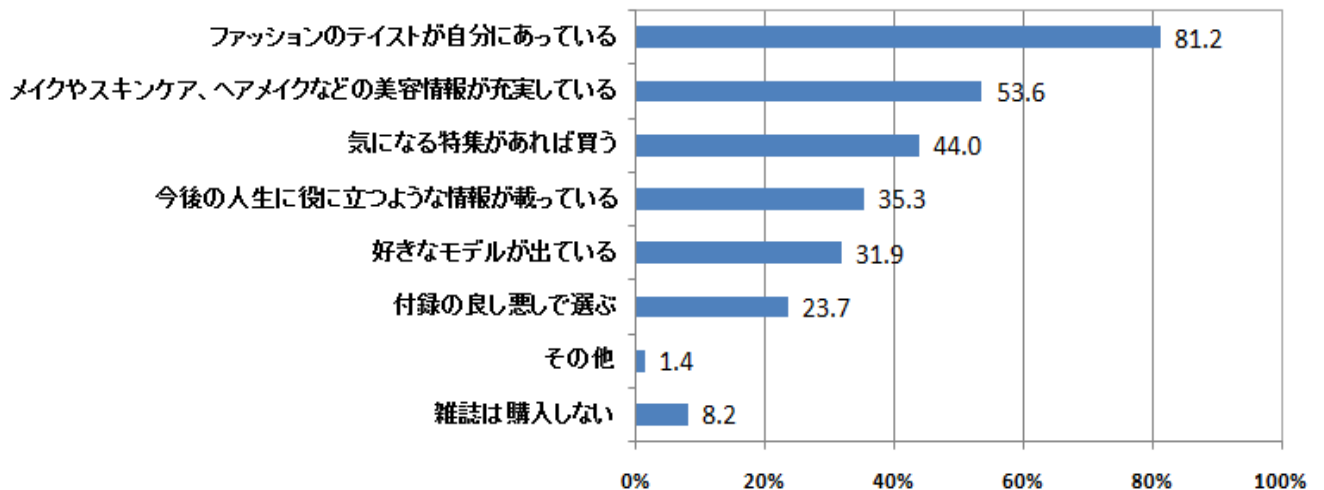
また、経済性において夫やパートナーに依存するのではなく、きわめて自立的な経済安定を志向している。

「専業主婦になること」はTPも2.9%、今回の「幸せな将来に重要なこと」の問いかけに、最もスコアが低かった。経済上のダブルインカム希望と、外とのつながりを絶ちたくないという気持ちがうかがわれる。

また、将来の生活では、「結婚」「子供」「仕事」とほぼ同じ程度志向しており（グラフ4）、家庭と仕事・家族と友達、すべてバランスを保ちながら獲得したいのが希望といえる。

### 3. 雑誌を選ぶ基準

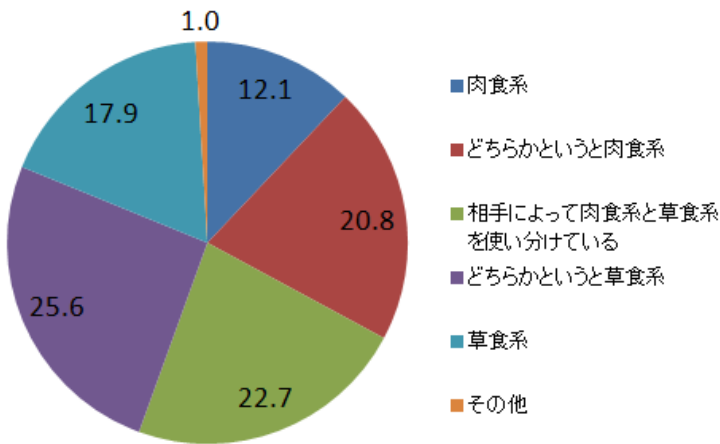
グラフ5：雑誌を選ぶ基準（MA）（%）



雑誌の購入契機に関しては、ファッション情報の充実が上位にあげられる中、「今後の人生に役立つ情報が載っている」も35.3%となった。グラビアを中心にした「見る部分」だけでなく、「読む部分」も雑誌のコンテンツとして重要になってきている。将来のために、知って得になることへの学習意欲は高い。

#### 4. 自分は肉食系か、草食系か？（生活や恋愛に関する姿勢）

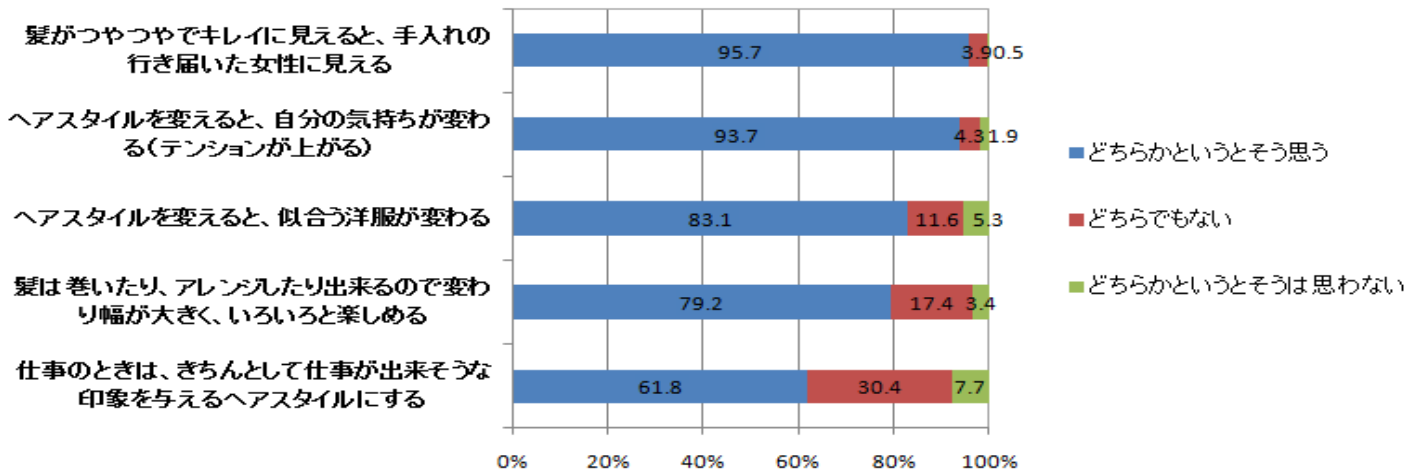
グラフ6：自分は肉食系女子か草食系女子か（％）



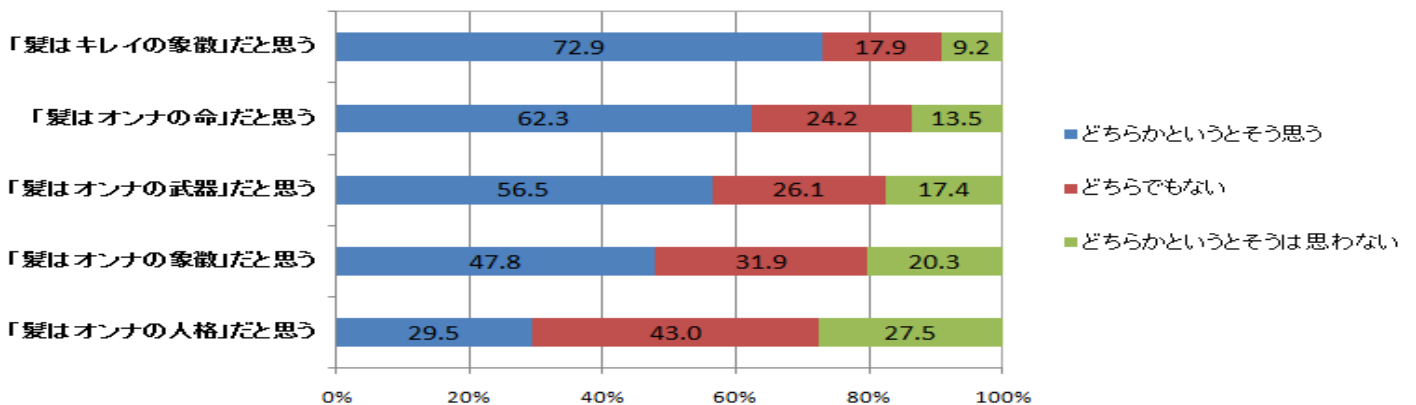
比較的均等に分かれる結果となったが、その中でも「相手によって肉食・草食を使い分ける」が22.7%に注目したい。意見の中には「外見はキャベツのようなしなやかな草食系。しかし、その中身はミンチ肉のような肉汁たっぷりの肉食系のロールキャベツ女子」「草食を装う（ロールキャベツ）が、失敗して肉が露骨に見える、いわばアスパラベーコン女子の時もある」と、本音を記していた。彼女たちは、ただモテたいだけではなく、先行き不安だからこそパートナー探し“婚活・恋活”は真剣な人生の選択と認識し、前向きなくたくらみ女子>となっている。

#### 5. 髪に関する意識

グラフ7：髪型の効果（％）



グラフ8：髪への思い（％）



20代女性の髪意識を見てみると、ヘアスタイルによって自分の気持ちも、他人からの印象も変わると認識している。(グラフ7)「合コンでは上半身が勝負」「急な合コンでも髪の変身(変わり幅)が大きいから有効」「目は今以上大きくならないし、肌も急にはきれいにならないから髪の変身効果は馬鹿にならない」など、髪がくたくらみ>の大きな要素と思わせる意見が多かった。

さらに、男性の好きな髪型を把握しており、中でも“ハーフアップスタイル(主にロングヘアでフロント、サイド部分を後頭部でひつつめたスタイル)は、仕事やデートなどシーンに合わせアレンジしやすく好感を与えるスタイルで、「神(髪)アレンジ」と表現した意見もあった。

これらの意見を結論付けるように、「髪はきれいの象徴」72.9%「オンナの命」62.3%「オンナの武器」56.6%。(グラフ8)女性にとって、髪価値は昔から大きく変わっていないのかもしれない。

#### まとめ

これらの調査をもとに“美しい髪”を追求したトリートメント力の高いスタイリング剤「ルシードエル ヘアメイクサプリ」を開発いたしました。

8月29日発売。

詳しくは、<http://www.lucido-l.jp/>

以上

#### この件に関するお問い合わせ先

株式会社マンダム	●大阪本社 酢谷(すたに) / 松田	TEL. 06-6767-5021	FAX. 06-6767-5041
PR担当	●東京オフィス 下川(しもかわ) / 萩原(はぎわら)	TEL. 03-5204-9085	FAX. 03-5204-9086